

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

## ♪ 例会のおしらせ ♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。能登半島地震の影響もあり、県教育文化会館を会場として使わせていただいています。今後変更がある場合がありますので、

参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

06 月 21 日(第 3 土曜日) 第 292 回例会 13:30  
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 502 号研修室  
07 月 19 日(第 3 土曜日) 第 293 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室  
08 月 23 日(第 4 土曜日) 第 294 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室  
09 月 20 日(第 3 土曜日) 第 295 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室

\*\*\*\*\*

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所、福祉総合相談センター等で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## ♪ 5 月例会報告 ♪

日 時: 5 月 17(土) 13:30~15:30 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 14 名(男性 6 名{内体験者 1 名}、女性 8 名{内体験者 1 名})のご参加がありました。

例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『ここに幸あり』『鯉のぼり』『おさななじみ』を歌いました。

### I あいさつと諸連絡

KHJ 全国家族連合会の理事長に佐々木善仁さん(いわて石わりの会)、日花睦子さん(大阪虹の会)が就任されました。佐々木さんは 2022 年 10 月に、例会にお招きし、講演をしていただきました。

厚生労働省から、1 月に『ひきこもり支援ハンドブック~寄り添うための羅針盤』が発行されました。

「第 1 章 本書について (1) 本書の目的、活用方法」の 3 つ目には、「また、ひきこもり状態の本人やその家族自身が確認することも目的としています。支援を受ける本人や家族と支援者の両方で支援方法や内容、その意味等を共有、確認するとともに、対話をとおして、良い支援について考えて行くための材料として活用ください」とあります。是非、読み深めて支援機関と連携して個別の支援を進めていきたい。

7 月例会では、「社会福祉士事務所」を開所し、成年後見に取り組んでおられる会員の U さんのミニ講演を予定しています。

### II いつもの話し合い

#### 全体での自由交流

- ・ 全国で百数十万人の方がひきこもり、その対応に家族への支援が言われるようになって来ました。当会は家族自助会であり、家族の方々の相互支援も図っております。

- ・子は、障害についての支援はA市へ、人の集まりの場はB市へ、仕事はC市といろんな所の方々にお世話になり、助けられています。
- ・子の免許の更新が心配。それで子にちょっと聞いただけで子の態度が変わる。気にしているようだ。
- ・子が心配。母の私が一生懸命努力する時だ。今は人間力を試されている時だと思っています。
- ・子とは話し合う機会が増え、教えてもらうことが多い。例えば固定電話の外国からの通話のブロックや、大丈夫な方の着信音を変える等、いろんな事を調べやってくれ詳しく教えてくれます。
- ・私が、相談相手をしている子が、大地の会とのつながりが嬉しいと言ってくれました。また別の若者がひきこもりから自立支援事業所に入ってくれました。それぞれ理解ある人につながり良かった。若者は若者なりにいろんな人に支えられて生きています。
- ・子にはいろんな選択肢を示すが、子は私（父）に、選んで欲しいことを決めてかかっているという。子には態度で見透かされてしまう。親は見守ることしか出来ないようだ。
- ・自分（母）は元気でおれるのは、もうしばらくの間。これからは、やるべきことはやるなど、自分のために生きようと思っています。⇒それが子の元気につながるのでは。
- ・車の免許更新をした。免許証の色が、ゴールドから青になった。横断歩道での一旦停止違反だ。富山県の方は、これが多い。皆様、一旦停止等安全運転をしましょう。
- ・亡き母の23回忌に、家族や親せきが久しぶりに集まった。皆で「在りし日」を振り返った。この振り返りは良かった。

### Ⅲ グループ交流

#### A班（8名）

- ・（経験者）働き始めて1年が経過した。後から入ってきた人の困り感もわかるので、アドバイスをすることもある。また、仕事をする上での段取りの大切さがわかった。
- ・一人暮らしをしている子に送った手紙を突き返されたことがある。子の気持ちを知りたい。
- ・県外で、子と暮らしている妻を労いたく思い、デザートを送った。
- ・夫は、子の苦悩をなかなか理解できないようだ。母には少し語ってくれるだけでも良いと思っている。
- ・最近、気になる事件がいくつか報じられている。報道に触れるたびに心配がつのる。
- ・子には、生活を楽しんでほしいと願っている。
- ・子と良い関係が築けると良いのだが。
- ・県外で暮らしている子の著作がよく売れている。
- ・子は部屋の掃除や片付けをよくするので、家の中で一番きれいだ。



#### B班（6名） 「親亡き後の子のマネープラン」

概要：1：退職後の老後の生活費

総務省の家計調査では、15万円必要だ。

2：親亡き後の収入増として、

国民年金は資格期間は（平成29年8月以降は）10年で、月の支給額は69,308円です。

納付が困難な場合は免除申請を。また障害年金受給期間は資格期間にカウントされます。

3：障害年金受給条件の件

初診日に公的年金に加入し、かつ2/3以上の期間、年金保険料を納めている方です。この救済に初診日の前々月前1年間に未納がない場合、請求出来ます。

4：国民年金基金の件 これは国民年金に上乘するもので、

現在は41歳男性の場合、月23,210円を払込みが必要です。それで65才～75才の間は、月35,000円支給されます。

5：生命保険信託について

子が親の死後、分割して保険金を受け取る制度もあります。

6：特定贈与信託とは

3級の精神障害の方等の場合、3,000万円を限度に贈与税が非課税となります。

話し合い

- ・今回の話は、親への支援として受け止めて下さい。
- ・親亡き後について、子は“いやがる”ので、きちんとしてではなく、日常会話程度にしたほうが良い。
- ・家族信託について教えて下さい

⇒これは親が子に管理運用を信託するものです。親子間なので安心ですが、日頃家庭内が円満で仲が

良いことが条件です。

- ・私（母）がいなくなったら、子が、障害年金の更新をしないのではと心配です。  
⇒ 今のうちに、市の包括支援センターに相談されたいと思います。



#### IV その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみ

体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。

- 2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

#### 富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

#### V 高岡つくしの会より（2003 年設立）

6月 月例会 6月8日（日）高岡市博労公民館 1：30より  
おとぎの森例会 6月11日（水） 6月28日（土） おとぎの森子どもの家 2：00～4：00

7月 月例会 7月13日（日）高岡市博労公民館 1：30より  
おとぎの森例会 7月9日（水） 7月26日（土） おとぎの森子どもの家 2：00～4：00

8月 月例会 8月10日（日）高岡市博労公民館 1：30より  
※おとぎの森例会は8月は開催しません。

#### VI 書籍・論文の紹介 『学びのきほん 傷つきのこころ学』宮地尚子著 NHK出版 2024.12

著者は、「はじめに」で、“私たちは、なぜいま「傷つき」について考えていく必要があるのでしょうか。それは、人間はひとりでは生きていけないから、ということに尽きます。ひとりでは生きていけない、だから他の人間と関係をつくっていくしかない。けれども、その人間関係のなかで、たくさんの傷つきが起きています。”と、語り始めます。

第1章 傷つきやすい時代 第2章 「傷つく」と「傷つける」 第3章 傷つきの練習  
第4章 傷つきを癒すには

著者の宮地尚子氏は、一橋大学大学院社会学研究科教授。精神科の医師として臨床をおこないつつ、トラウマやジェンダーの研究をつづけている。・・・と著者のプロフィールに書かれています。約100頁の本ですが、文字が大きく、行間も広いのでとても読みやすい本です。手に取っていただくと嬉しいです。